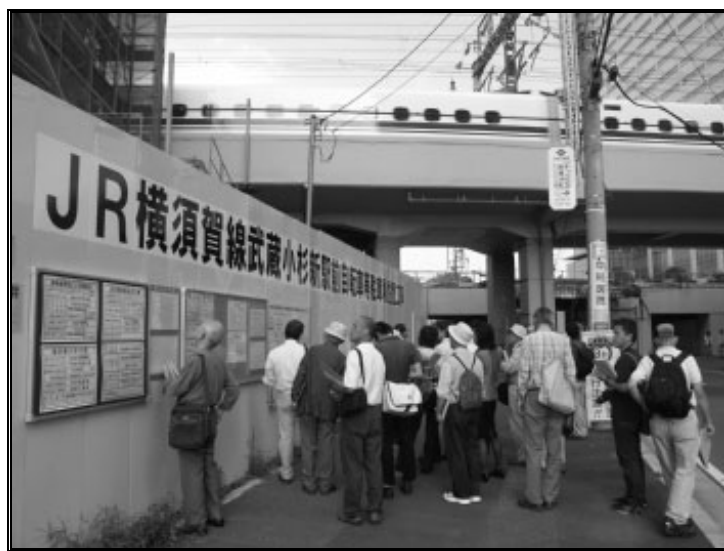


# 武蔵小杉駅周辺視察会報告書

～『市民の目と足で変貌する街を Check !!』体験・半日お試しコース～  
— 小杉が変わる、どう変わる? —

平成 21 年 10 月 4 日(日)開催



編集：川崎の交通とまちづくりを考える会（K-cube）

<http://kcube.zour i. jp/>

平成 21 年度かわさき市民公益活動助成金事業

# 目 次

1. 目的・経緯	1
2. 視察ルート・チェックポイントと周辺地図	2
3. 結果概要	4
4. チェックポイントのまとめ	
(1) A 中原市民館周辺エリア	5
(2) B 小杉駅西口周辺エリア	10
■ 自転車にやさしい、まちづくりへの提言	12
(3) C 武蔵小杉駅北口・新丸子駅周辺エリア	13
5. 参加者アンケート結果	16
6. 視察会を振り返って	18
■ 武蔵小杉駅は地域の玄関	19
7. 提 言	20
■ 編集後記	21



## 1. 目的・経緯

### (1) 目的

当会は、市民の立場から川崎が「住みやすく」「働きやすく」「安心・安全で快適に」「環境に配慮しつつ移動できる」まちづくりを実現するために様々な活動に取り組むことを目的として設立された。

川崎市は近年、主要駅周辺における再開発が進み、人口増加を続けて140万人を突破したが、交通については、JR・京急・東急・小田急・国道15号・首都高横羽線・産業道路等の東京と横浜を結ぶ通過型交通が充実する一方で、市内を南北に結ぶ縦方向の交通が貧弱である。また、産業都市として、物流による通過型交通が多い上に、人口増に伴った自動車の増加と、平坦な土地柄から自転車の利用増加が加わり、道路はバス・自動車・自転車交通が錯綜し、鉄道は満員電車に加えて、駅の狭いホームと階段、エスカレーター・エレベーターの不足等、バリアフリーの点からも利用者の不満は大きい。

したがって、「点と線」ではないが、「点＝拠点開発」は進むものの、それに見合った「線＝交通」が停滞しており、将来のまちづくり、市民生活に与える影響が憂慮されている。

このような状況の中、再開発が進み、急速に変貌をとげる「武蔵小杉駅周辺」について、バスや自転車など、身近な交通について、メンバーだけでなく、一般市民の方を募り、一緒に歩きながら、問題点などをチェックして“まちづくり”につながる視察会を企画した。

また、その結果から、交通とまちづくりに関する現状と課題点を見出し、改善策等について提言していくことを第1の目的として視察会を企画実施した。

併せて、市民の交通・まちづくりへの関心喚起、視察先に拠点を置く諸団体との連携協力関係の構築、他地域視察のモデル事業化、市内イベント等での発表材料とすること等も目的として実施した。

### (2) 経緯

当会は立ち上げて間もない団体であり、一般市民の方を対象とした視察会も初の試みであることから、広報・資金面等にメリットがある「平成21年度市民活動助成金（スタートアップ）」に募集することとし、平成20年度より準備を進め、昨年応募した。

以降、書類審査・プレゼンテーション＝写真＝と選考を経て、助成金支給が決まった。

平成21年度は本視察会の企画・広報等を毎月の定例会で打合せ、事前の8～9月には合計2回の事前視察を行い、後述の通り、同行案内役として、中原区の「自転車と共生するまちづくり委員会」委員長の芳賀氏と「中原20年構想委員会」副委員長の萩原氏のお二方に依頼して、平成21年10月4日（日）に開催するに至った。



## 2. 視察ルート・チェックポイントと周辺地図





#### A 中原市民館周辺エリア

- ① 中原市民館前～武蔵小杉駅前広場
- ② 横須賀線武蔵小杉駅新駅連絡通路
- ③ (通称) 児童用通路
- ④ パークシティ内公開空地
- ⑤ 新中原消防署前
- ⑥ 横須賀線武蔵小杉駅・新駅交通広場
- ⑦ NPO法人 小杉駅周辺エリアマネジメント  
【休憩・説明】

#### B 小杉駅西口周辺エリア

- ⑧ 東横線武蔵小杉駅前
- ⑨ イトーヨーカドー周辺
- ⑩ JR武蔵小杉駅自転車等駐車場

#### C 武蔵小杉駅北口・新丸子駅周辺エリア

- ⑪ 花クラブ実行委員会花壇
- ⑫ 等々力緑地通り
- ⑬ 日本医科大学グランド再開発予定地・  
医大モール商店街
- ⑭ 新丸子駅周辺 【休憩】
- ⑮ JR武蔵小杉駅・北口駅前広場
- ⑯ 高架下通路

本視察会では、視察ルートに本図のとおり3エリア・16チェックポイントを設け、参加者にチェックシートを渡し、チェックポイント毎に ◎とても良い ○良い △ちょっと気になる ×問題あり の4段階評価とその評価理由および感想をご記入いただいた。

このチェックシートは視察会終了時に回収し、その集計結果は本書 5～15ページに示す通りとなった。

※横須賀線新駅・駐輪場・バス停は2010年3月開業。

### 3. 結果概要

- (1) 日 時 平成21年10月4日(日)午後1時30分～午後6時
- (2) 視 察 先 武蔵小杉駅周辺 (P.2～3 参照)、全行程約5km
- (3) 参加者数 21名
- (4) 視察方法 説明者・メンバーより説明を受けつつ、街歩きチェックシートにコメント等を記入した。

#### (5) スケジュール

- 13:00 受付開始(会費徴収、資料配布等)【中原市民館第2会議室】
- 13:30 主催者挨拶、メンバー・説明者紹介、趣旨・概要説明
- 13:45 視察開始、A地区より  
休憩・説明【NPO法人小杉駅エリアマネジメント事務室】  
B地区、C地区視察
- 17:00 チェックシート・アンケート回収、意見交換【中原市民館第2会議室】
- 18:00 終了

#### (6) 説明者

- ・芳賀 誠 氏 自転車と共生するまちづくり推進委員会 委員長  
NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント 理事  
⇒ A・B・C地区における駐輪場・街の歴史等の説明を担当
- ・萩原ひとみ 氏 なかはら20年構想委員会 副委員長  
NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント 理事  
⇒ A地区における再開発地域の設計思想・街の歴史等の説明を担当

#### (7) その他

- ① 広 報: チラシ配布、市民活動センター  
ポータルサイト掲載、「中原市民活動の  
集い」での案内
- ② 事前視察:  
第1回平成21年8月15日(土)  
第2回平成21年9月26日(土)
- ③ 当日天候: 晴天
- ④ 参加費: 500円/名
- ⑤ 保 険: 普通傷害保険に加入



#### 4. チェックポイントのまとめ

### (1) A地区 中原市民館周辺エリア



A地区は、J R・東急武蔵小杉駅周辺の工場跡地などに地上100m以上の高層マンションが5棟建ち、2014年までには新たに2棟完成予定だ。

2010年3月13日、J R横須賀線武蔵小杉駅が開通した。住民が住む地域に新たに新住民として1万人以上が移り住むという例は、日本では初めてだという。

#### A-1 中原市民館前～武蔵小杉駅前広場

回答結果：◎【とっても良い】3 ○【良い】5 △【ちょっと気になる】3 ×【問題あり】0

◎ 公開空地も多く、よく整備されていると思った。

歩道が広いが、「駐輪禁止」のコーンが無くなれば景観的にも良い。

◎ 環境も良く歩きやすい。

◎ 歩道も広く歩きやすい。

○ 緑を残した代わりに市民館の表示が分かりにくい。

○ 緑が多く、気持ちよく歩ける。開発全体が完成する時には、もっと快適に歩けるようにしてほしい。  
雨にぬれずに駅から各棟にバリアフリーで行けると良い。

○ 開発途上であり、将来を期待したい。

○ コンセプトは初めて聞いた。なるほどという感じだ。

△ 路駐の取り締まりをどうするのか。

△ 原色のカラーコーン（駐輪禁止）の色が緑と対立して汚い。

・ 高層階でデザインを少し変えるアイデアは面白い。

#### 【こぼれ話】 ケヤキ並木誕生の苦労話

市民館前のケヤキ並木は当初、市になかなか許可を出してもらえなかった＝写真。

ケヤキは根が盛り上がり、後で道路の補修に費用がかかるという理由からだ。

しかし、根の下を2倍に掘ってネットを張るなどの案を出して、やっと許可が得られたそう。



## A-2 横須賀線武蔵小杉駅新駅連絡通路

回答結果：◎【とっても良い】1 ○【良い】1 △【ちょっと気になる】8 ×【問題あり】1



- △ 今は階段を上り下りで使いづらそう。周辺に既存の建物が多く整理しづらそう。分かりやすいサインがほしい。
- △ フーディアムの駐輪場=写真=の3時間は無料。駐輪場の存在を周知させることが重要。
- △ 動く歩道が整備されるが、意外と距離があるため、果たしてどの位利用するのだろうか。連絡通路の下が溜まり場になったりしないか。
- △ ゴミ捨て場の管理状況が気になった。
- △ 歩行者用にしても狭い。
- △ 駅近くの路上にはかなりの放置自転車があるが、フーディアムの駐輪場はまだ空いているので、

PR や案内をもっと行う必要があるのでは。

- △ まだ工事中なので全体が見えてこない。完成したらまた見に来たい。
- × 未舗装道路で危険（手前の道路…管理上の問題あり）歩道橋は未完成で現在評価できず。駐輪場は私的であり、公的でないため使い勝手は如何なものか？

【注：フーディアムの駐輪場の自転車収容台数は416台】

## A-3 (通称)児童用通路

回答結果：◎【とっても良い】2 ○【良い】2 △【ちょっと気になる】3 ×【問題あり】4

- ◎ 「苦肉の策」だが、よく整備したと思った。高さは低いが、小学生のために作った功績はすごい。
- ◎ お金をかけない排水用の地下道が良かった。残すべきだ。
- 横を走る綱島街道よりも腰をかがめて通る通路を人は選択することに納得。
- △ 素敵な観光名所。子ども達も良い思い出になろう。整備された場所だらけの街の中でほっとするポイント。安全性快適性の面で問題だろう。
- △ 10月に廃止され新しい通路が出来るが、平面な通行でないのが問題だ。
- △ 天井高も低いので子どもしか通らないと思っていたが通行量が多い。かなり危険だ。
- × 排水路を利用した学童用通路。頭をぶつけそう。
- × 近道としての利便性はあるが、利用者にとってもあまり愉快ではない施設である。
- × 廃止されるので問題なし。
- ・ 人を通す許可を取ったと感心。通行人の自己責任を前提にした思想は普通なら役所を通らない。







### 【こぼれ話】 通称児童用通路の知られざる歴史

昭和の初め、南武線建設中に洪水対策のために作られた。当時、多摩川は度々氾濫して、ここ新丸子東地区はよく洪水に見舞われていた。住民たちは洪水時に溢れた水を南武線の土手でせき止めようと水抜き管路建設を陳情した結果生まれた。後にこの管路の跡が児童用通路に生まれ変わる。管路跡なので高さ 1.4m と背の低い地下道となっている。2009 年 10 月に閉鎖後、今は高さ 2.5m エレベーター付の通路を建設中で、通行が可能となった=写真。監視カメラ 11 台が 6 台のモニターに通行人を常に映している。

#### A-4 パークシティ内公開空地

回答結果：◎【とっても良い】5 ○【良い】4 △【ちょっと気になる】2 ×【問題あり】0

- ◎ アメニティ空間として利用者にとって得がたい通路となっている。
- ◎ 皆で利用できる公開空地がいい。
- ◎ 公開空地の活用を!! 旧住民とのコミュニケーションをどうとるのか?
- ◎ とても良い雰囲気であった。
- 自転車も歩行者もゆったりと通行できるが、夜間バイク進入できてしまうかも。水辺の空間が囲われているのは残念。おとぎの国的なコンセプトは陳腐化すると寂しい。多くの人の気持が込められ続けることが大切。
- 公開空地が広くて、公園の役割を果たしていた。
- 公園としても整備されているが、もう少し人がいても良い。
- 公開空地のストーリーが素敵。
- △ 夜間の暗さが心配。
- △ 環境は良いが若干閉鎖的なエリアであるとの印象を受けた。



#### A-5 新中原消防署前

回答結果：◎【とっても良い】1 ○【良い】5 △【ちょっと気になる】3 ×【問題あり】0

- ◎ 公開空地の活用を!! 電線の地中化を評価。
- 食料の備蓄が隠されていて気づかなかった。木の移植は技術の向上を感じた。
- 広場に比べて通りの部分の緑が多すぎて暗い。
- 消防署とホテルが一緒になった斬新な考え方がいい。
- △ 公道が高く、雨天時には住宅側に相当量の水が流れ込むであろう。
  - ・ 防災倉庫の容量が小さすぎると思う。

【注：交差点のマンション地下に 508 m<sup>2</sup>の地下雨水流出抑制施設がある。高さ 163cm、広さ 612 m<sup>2</sup>】



### 【こぼれ話】残ったヒマヤラヤ杉に防火倉庫

かつて駅前には東京銀行の丸子クラブハウスがあり、敷地には500本の樹木があったという。またこの地区には不二サッシの工場があった。わずかに残されたこのヒマヤラヤ杉は当時のまま。

ヒマヤラヤ杉の下には防火倉庫の建物がある=写真。ここには約200人分の水、食料、衣料が蓄えられている。

### A-6 横須賀線武蔵小杉駅・新駅交通広場

回答結果：◎【とっても良い】0 ○【良い】5 △【ちょっと気になる】5 ×【問題あり】1

- スーパー閉店が寂しい。果たして再オープンできるだろうか。駐輪場の階数毎の料金区分は名案。
- 将来性あり。新幹線の走行音が気になるが、高架下利用がどのように配慮されるのか気になる。
- 4階建の駐輪場の使い勝手が気になる。バスのルート等が気になる。
- 改札口が1か所というのが気になる。
- △ 南武線（東急線）の駅とかなり離れてしまうので歩いて移動はたいへんだと思う。新駅ができるということは相当ポテンシャルが上ると思うので、その部分は◎。駅横の通路が狭い。
- △ 新駅前の4階建駐輪場の建設費は2億9千万円。1台約20万円位か。2～4階の利用促進が肝心。
- △ 拡張しただけの通行量があるとは思えないので、道路を整備して拡張するなら同時に自転車レーンを設けるべきだったと思う。信号が必要。
- △ 改札ができれば雰囲気が変わると思うが何かと寂しい。駐輪場4Fの稼働率はどうなるのか。

【編集注：▶約1年間閉店していた新駅横のスーパーが2010年2月20日再オープン=左写真。駐輪場は裏の納品口に駐輪19台、バイク4台のみ。▶JR横須賀線武蔵小杉駅広場に4階建駐輪場が建設された=左写真中央。工費2億9千万円(市費18%、国費40%、起債42%)、1,745.36㎡、自転車約1,380台、ミニバイク約120台を収納。自転車定期月額料金は4階1,300円、3階1,500円、1・2階は2,000円、計974台の定期利用を募集。▶右写真：JR横須賀線武蔵小杉駅交通広場】



☆ 30年の悲願「横須賀線武蔵小杉駅」ついに開業！！

「新駅開業につきましては、30年の悲願でありました」と横須賀線小杉推進協議会会長の松本等氏は言う。2005年4月に川崎市とJR東日本が基本覚書を締結し、事業がスタートした。総事業費は約226億円。市が約168億円、住宅事業者が約20億円、JR東が約38億円を負担した。

2010年3月13日、新駅が一部暫定的に開業された。新駅には横須賀

線・湘南新宿ラインの快速も停車し、武蔵小杉駅から東京駅まで17分、新宿駅まで18分、横浜駅まで10分で行くことができる。成田エクスプレスも停車し、成田空港まで80分で乗換えなしで行けるようになった。

南武線武蔵小杉駅と新駅の連絡は暫定的な地上の連絡通路を通る以外に、30分以内なら切符を持ったまま一旦改札口を出て、一般道路経由で、もう一方の改札口から再入場することもできる。(2011年春完成の正式通路完成までの暫定措置。「お乗り換え専用」のオレンジ色の自動改札機利用時のみ)

現在建設中の連絡通路は全長260m。途中の綱島街道と東海道新幹線・横須賀線と交差する場所は地下通路になる。そのため地下までの区間に3ヶ所の“動く歩道”を設置し、地下通路の両側にはバリアフリー機能を搭載したエレベーターとエスカレーターの設置も予定されている。新駅の出口はNEC方面の地上の1ヶ所のみとなるが、この連絡通路により南武線側にも出られるようになる。

写真：『市政だより「かわさき」2010年2月1日号より』



A-7 NPO法人 小杉駅周辺エリアマネジメント

回答結果：◎【とっても良い】3 ○【良い】6 △【ちょっと気になる】1 ×【問題あり】0



写真：芳賀氏より NPO 法人の説明を受けている様子

- ◎ デザインがシンプルで使いやすそう。緑が育つと雰囲気良くなりそう。綱島街道からの視線を緑地帯で区切ったところが良い。
- ◎ 綱島街道と開発部分の切り離しを考えたデザインが良いと思う。
- 地域住民が日頃から交流できる拠点になっていたらと思う。
- 新住民との交流について話が聞けて良かった。
- △ 階段はバリアフリーではない。スロープは分かりづらい。

## (2) B 小杉駅西口周辺エリア



B地区は、A地区の再開発地帯とは対照的な活気ある商業地帯だ。駅に近く、狭い道に多くの通行人が行き交う。飲み屋や飲食店も多い。

イトーヨーカドーのように駐輪場が完備されている商業施設もあるが、圧倒的に駐輪場不足で自転車が雑然と置かれている。

現在の活気を失うことなく、今後整備していく中でどう調和をとっていくか？

### B-8 東横線武蔵小杉駅前

回答結果：◎【とっても良い】2 ○【良い】2 △【ちょっと気になる】4 ×【問題あり】0

◎ 活気のある商店街、飲食店が頑張っているのは何より。再開発で街が新しくなる中、この活気はぜひ残したい。どこも同じだが、自転車対策が課題。いっそのことオープンカフェにでもしてはどうか。バス通りの歩みにくさも何とか解決したい。

◎ バー、キャバレー等が並ぶ細い道。細い道路の奥にエコステーション 21 の小型駐輪場があった=右写真。

○ これだけ駐輪場を整備しているのに、という印象。(市民館跡の駐輪場の) 休日無料はありがたい。

○ 花壇などで色々対応されているが、違法駐輪が多い。

△ 走行自転車がも多く、歩行者にとって決して安全ではない。駅前には雑然としている。

△ 道路が狭く、自転車の交通量が多い。エコステーション 21 駐輪場としての活用 Good。

△ 活用しづらい狭小な土地を駐輪場として活用した事例は素晴らしいが、通りからあまり目立たない。



× 駐輪場が不足

× 東京機械製作所の横の道は歩道が狭い。車の進入禁止にすべき道路だと思う。

× あまり広くないエリアなのにあまりにも駐輪が多すぎる。自転車対策が追いついていない代表的な事例だと思う。



【注：このエコステーション 21 は日本コンピュータ・

ダイナミクス (NCD) 社製の駐輪場管理システム】

### B-9 イトーヨーカドー周辺

回答結果：◎【とっても良い】1 ○【良い】2 △【ちょっと気になる】5 ×【問題あり】3

- ◎ 公開空地の緑道化は参考にすべきかと感じた。
- 花壇などで色々対応されている事が分かるが、違法駐輪が多い。
- △ 開発途上にある施設で将来はどうなるのか？ 川崎市の困惑ぶりがうかがえる。将来構想の絵(図面)があれば理解しやすいと考えられる。
- △ 駐輪等で歩きにくい場所があった。
- △ イトーヨーカドーだけでなく、周辺の店も協力していけば、もう少しましになると思う。
- △ 駐輪場の上に公園をつくること。あまり整然とした公園ではなく、周辺の猥雑さに合った公園にして欲しい。バルセロナのグエル公園みたいなシュールでアートなものが良い。
- △ 放置自転車が多い。歩道の看板と商品展示が気になる。
- × イトーヨーカドー駐輪場と花壇良かった  
=右写真。
- × 車進入を考えるべき。
- × 違法駐輪があまりに多い。
- × 地下に防火槽、2階に公園のある駐輪場を作る。歩道への商品展示や看板が多かった。



### B-10 JR武蔵小杉駅自転車等駐車場

回答結果：◎【とっても良い】0 ○【良い】4 △【ちょっと気になる】6 ×【問題あり】1

- (市民館跡地の駐輪場としての利用は)苦肉の策だが、跡地にも再び駐輪場の整備を望みたい。有料→無料→有料でも使う人がちゃんとしているのは意外だった。
- 敷地と敷地との間の利用は上手で、通り抜け道路としての利用可。高架下の利用も屋根があり良い。
- △ 町としてきれいな感じがなく、もっと気持ち良い環境にしたい。
- △ 自転車駐輪場への案内にもう少し工夫が必要。
- △ 通りが元々狭いため、車を締め出して歩道と自転車道を分離した道路に整備してみてもどうか。
- △ 駐輪場の設備については色々工夫がされている。
- △ 新しい駐輪場のできるまでのつなぎの駐輪場とはいえ、置かれ方が悪く、入口も入りづらい。
- × 高架下の利用の仕方が無計画。店舗・駐輪場・町会会館ありで、周辺道路もサインが不備。近辺の新築マンションも道路に接近して建っており圧迫感が大きい。
  - ・ 東京側とJR側の2つの駐輪場。JR側は、JRの子会社の運営になっていた。
  - ・ 歩行者と自転車が共生できる街づくり手法が欲しい。交通弱者への配慮が必要。
  - ・ 自転車対策：通勤自転車と買い物自転車は性格が違うので、うまく整理して考えるべき。
  - ・ 街付近に短時間用の駐輪場がもっとあると良い。

## ■ 自転車にやさしい、まちづくりへの提言

川崎の交通とまちづくりを考える会 運営委員 高橋喜宣

武蔵小杉駅周辺に約 1,500 台、中原区内では約 5,800 台の放置自転車がある。市は武蔵小杉新駅に 4 階建 1,380 台収容の駐輪場を建設するなどの対策を行っているが、駐輪場の不足は明らかだ。

川崎市建設局自転車対策室の方針は「放置しない、させない、許さない」と「市民一人ひとりの心がけが大切」とモラルに訴え、「放置問題の解消に向け、一団となって努力している」と言う。

当会は自転車問題について「自転車は熱い」と題して、国内のみならず欧米、アジア各国の自転車事情を調べ、当会のホームページに発表してきた。そこで多くの国が国家戦略として自転車を交通手段として位置づけようとしていることが分かった。例えば、韓国では李明博（イ・ミョンバク）大統領が「炭素を排出しない自転車を主要交通手段として復活させることが、我々が進む道」と訴える。

ガソリン乗用車（普通・小型車）なら 1km あたり 173g の CO<sub>2</sub> を出す。自動車は供給過剰な駐車場を利用してその地位を謳歌している。自転車なら、有り余る人の脂肪という資源を活用して、CO<sub>2</sub> 排出ゼロだ。だが、自転車の地位は低い。邪魔者ではなく、自転車に市民権を与えるべきだ。自転車こそ、CO<sub>2</sub> 削減 25% の国策に合致している、21 世紀の都会の主役となるべき存在と言えよう。

人口約 23 万人の中原区は、地形がほぼ平らで、集合住宅と単身世帯が多いという特徴がある。商業者にとっても、駐車場の整備コストと駐輪場設置のメリットを天秤にかけて自転車による来店を奨励して、環境にやさしい企業としてアピールすると、売上増加につながられるのではないか。新しい街づくりが進む武蔵小杉にこそ自転車にやさしい街づくりができると考え次のような提言をしたい。

### 【 提 言 】

1. 商業施設に駐輪場の設置を義務化する条例を設置する。

（日野市は「自転車等の駐車秩序の確保に関する条例」で業種別に具体的な数値を上げて設置義務化。300 m<sup>2</sup>超の遊戯場には 15 m<sup>2</sup>毎に 1 台、400 m<sup>2</sup>超のスーパーは 20 m<sup>2</sup>毎に 1 台等）

2. 駐車場に駐輪場を敷設する条例を設置する。（米国ポートランド市で実施中。当会 HP 参照）

3. 自転車販売店の協力で、大型駐輪場に自転車の整備・修理をするコーナーを設ける。

4. 自転車禁止地域を指定するだけでなく、HP や掲示板利用をして駐輪場の案内に力を注ぐ。

5. 公開空地に駐輪場を設置する。

（例として、溝の口駅の丸井・みずほ信託銀行前の公開空地に駐輪場が設置されている=右写真）



武蔵小杉タープ前放置自転車=左写真=を溝の口の駐輪場=右写真=のように整備できないか？

### (3) C地区 武蔵小杉駅北口・新丸子周辺エリア



C地区は、病院・学校・社宅・住宅地・商店街が密集する生活の場だ。この駅北口にも再開発の動きがある。グラウンドを含む日本医科大学病院＝写真中央＝の4.4ha、大西学園の1ha、新日本石油の社宅地区1.9haだ。

駅と等々力公園地区の中間地点に位置する静寂な住宅地となっている。しかし、安易な開発は自動車などの騒音や排気ガスの公害にもつながる。今後の展開を見守っていききたい。

見守っていききたい。

#### C-11 花クラブ実行委員会花壇

回答結果：◎【とっても良い】0 ○【良い】4 △【ちょっと気になる】6 ×【問題あり】1

◎ 旧駅の名残を感じることが出来た。花は地域の花などを用いて、少し大げさだが、「地域ブランド」的な意味合いを持たせ地域への浸透を目指して欲しい。例えばパンジーを区民にもっと根づかせる。デットスペース利用が良かった。ほっと一息する空間。旧駅前広場を利用した空間づくりとしてホッとするいい活動だと思う。

○ きれいになって手入れされているがもっと土地の利用方法があると思う。

花クラブの活動を評価。ほっとする一角、

花一杯運動の皆さんの気持ちが込められて伝わってくる一角。ここが旧小杉駅の駅前で、北に伸びるのは、旧駅前通りとは知らなかった。向かいの駐輪場には、1年間社会実験として無料にしたら、50→300台、しかし、約束通り1年後に有料60円にしたら、300→250台。ほぼ成功。

【注：パンジーは中原区の花。区内には14軒のパンジー農家が点在する】



#### こぼれ話：ボランティアの花壇づくり

視察会準備のため何度も武蔵小杉地区を巡回した。9月26日、最終準備の確認のためフルコースをメンバー5人で歩いていたら、花壇を実際に作っている方＝右上写真＝にお会いできた。「区民の手で花一杯中原事業」として花クラブ実行委員会が年間を通じて花を植えているとのこと。



### C-12 等々力緑地通り

回答結果：◎【とっても良い】1 ○【良い】9 △【ちょっと気になる】0 ×【問題あり】0



- ◎ 歩きやすく緑もあり良かった。
- 通り沿いのグッズショップに寄りたくなった。サッカー場へ行く人が多いのならフロンターレのカラーをもっと出せば子ども達も喜ぶと思う。(Jリーグの観客増のためにも) モニュメントを作り、自販機をマスコットの絵にしたりする。高層マンションを建てられると、どう変わるか不安。きちんと耕地整理された区域でいいと思う。ただ広い空地を確保して

いるエリアであるため次世代への更新に向け課題が発生してくると思った。歩きやすい。

新日石の社宅空地で太陽電池パネル4種の試験と思われる物があった=写真。歩道の幅も程良くとれていて、緑も多く開放感がある。バス停を工夫すればもっと良くなるのではないかな。

### C-13 日本医科大学グランド再開発予定地・医大モール商店街

回答結果：◎【とっても良い】1 ○【良い】6 △【ちょっと気になる】3 ×【問題あり】0

- ◎ 高木が多く夏も涼しそう。この「土地になじんだ感じ」は壊さないでほしい。屋台が出るということで独特の雰囲気がある。
- 道が狭いため、再開発したら道路の混雑が医大モール商店街=右写真=は医大生への割引をしている？学校が近いのなら学割で学生を呼べると思う。再開発で交通の流れがどう変わるかだ。開発に期待。
- △ 商店街では商品台が歩道まで多く出ており、駅周辺の放置自転車が気になる。



### C-14 新丸子駅周辺

回答結果：◎【とっても良い】0 ○【良い】1 △【ちょっと気になる】3 ×【問題あり】6

- 店舗のためとはいえ、狭いスペースで頑張っているなと感じた。
- △ 庶民的ではあるが、道が狭く大型バスが来たら危ない。駐車場、駐輪場を整備し、バスと歩行者以外に進入禁止にした方がよい。放置自転車が、路上への商品展示が気になった。
- × 高架下にある歩道は、狭い上に車道側への傾きが大きすぎて歩きにくい。車椅子では、おそらく無理。自転車の置き方が問題。新丸子公園は、「公園」なのだろうか疑問。駅西側は歩きづらい。駐輪マナーも悪く車も大型バスも入ってくる。駅東側商店街は活気があるが、西側は活気が欲しい。駐輪場への通路が狭くて危険。



C-15 JR武蔵小杉駅・北口駅前広場

回答結果：◎【とっても良い】0 ○【良い】6 △【ちょっと気になる】1 ×【問題あり】1

○ 交通の結節点として重要な場所だと思う。駅前広場も広くて良いと思う。

バスの便が良い。電線の地中化が進んでいる。バス乗り場とタクシー乗り場も整っている。駅前には歩道も広く不法駐輪も少ないと思う。高木も多く緑も豊か。

△ 自動車が乗り入れていたがOKなのか？ けっこうスピードが速かったが。バスが平面にあるのは使いやすい。色分けや案内の設置で初めての人にも分かりやすくなると思う。

C-16 高架下通路

回答結果：◎【とっても良い】0 ○【良い】4 △【ちょっと気になる】3 ×【問題あり】1

○ 「女性の視点」が大切だと実感。

△ 現在暗いので対応していただいて良かった。夕方の時間のせいはかなり暗く感じた。タバコと空き缶ポイ捨て対策が必要。狭い道の両側に駐輪多く、芳賀氏が早速移動していた。

× 開発中とはいえ、整理されていない。まだ整備中なので現状では何とも言えない。

開発が完成すれば変わるのでないか。仮設中も歩きやすくして欲しい。

街路灯はできて良かった。

【こぼれ話】 1枚の写真から照明設置



冒頭述べた通り、当会は平成21年度かわさき市民公益活動助成にスタートアップ助成を申請した結果、助成金が交付された。

5月24日代表の野口が公開プレゼンテーションを行い、視察会やイベントを通じて「市民に対する様々な提案と情報提供を行うと共に、市民からの意見収集等を行いたい」と事業目的を説明した。左写真はその時に使われた東急武蔵小杉駅西口付近の写真。当会も参加している MAKE the RULE 川崎の会合の帰り道に「この道は暗くて怖いわ」というメンバー女性の指摘により、帰宅後に再び戻ってその当日に撮ったもの。当会ではこのような状況を解決していきたいという例としてあげた。

なお、後日、当会会員によってこの写真が中原区まちづくり推進委員会の課題発見・解決部会で取上げられた。結果、この高架下に左写真のような照明が設置された。



尚、参加者のチェックポイントの内容の一部を割愛しています。

## 5. 参加者アンケート結果

〔回収数 12件〕

### 【設問内容と回答】

#### 1. 今回の視察会内容はあなたの期待を100点満点とした場合、何点ですか。

平均76.0点（最高95点、最低50点）

#### 2. 1の点数をさらに高めるには、どの部分をどのように改善すれば良いですか？（抜粋）

- ・会の目的を明確化にする。事前説明が必要だ。
- ・参加者に具体的に何を期待しているのかが分かりにくかった。
- ・もう少し時間を長く設定して、一つ一つを更にしっかり見られればと思った。
- ・視点をもう少し前もって示した方が良い。もう少し交通全般に対する説明があれば良いと思う。
- ・説明がだらだらと長い。後からどんどん色々な人が話をされて、要点が分からなかった。時間をきっちりしていただきたい。
- ・どのような視点でチェックをすれば良いのか分かりにくい点があった。
- ・エリアの設定が広がった。
- ・話が聞き取りにくい場所があった。事前にもう少し説明する場所を決めておくが良い。
- ・歩道やコーナーを占有してしまい、通行人にかなり迷惑をかけてしまったと思う。話の聞き方のルールを決め実現して10点アップ。時間通りに終われば5点アップだと思う。

#### 3. 案内についての感想（回答数）

①分かりやすい（7名） ②普通（4名） ③分かりにくい（1名） ④その他（0名）

#### 4. 本視察会を知った経緯は？（回答数）

①チラシ（4名 市民館、宮前市民館、全国まちづくり会議）  
②知人の紹介（7名） ③その他（0名） ④無回答（1名）

#### 5. 今後視察したい川崎の街はどこですか？（回答数 ---複数回答あり）

①臨海部（3件） 具体的場所として浜川崎 ②川崎駅周辺（5件） ③新川崎周辺（1件）  
④新百合ヶ丘周辺（3件） ⑤登戸周辺（1件） ⑥その他 0件）

#### 6. その他のご意見・ご感想〔自由記入・一部要約〕

##### ①（20歳代）

- ・児童用通路に一番感心した。もっと誇るべきでアピールして良いと思う。
- ・横須賀線新駅は東急・南武線と離れているが、お店を置いたり写真展を開いたりして、面倒臭さを感じないようにしてほしい。
- ・違法駐輪の話題が取り上げられたが、そもそも自転車がそれほど優遇されていないと思う。道路と自転車のレーンを分け、もっと使いやすい場所（一等地）に駐輪場を置き、近ければ地下でも利用

する者が見込めると思う。

- ・せっかく新しくなろうとしている武蔵小杉で、旧住民と新住民の融合、きちんとした道路と駐輪場が整備されることを願う。
- ・後半は、色々問題提起してもらいながら説明いただいたので分かりやすかった。

#### ②（30歳代）

- ・今後自転車の利用は重要になるので、駐輪場を充実させる等の活動は非常に素晴らしいと思う。

#### ③（50歳代）

- ・有意義なツアーになったと思う。
- ・街のなかに座るところがない。（座るところを作るという意識が見えない）
- ・大いに参考となった点は、街全体で駐輪料金の体制を統一的としている点。
- ・二子玉川では今、エリアマネジメントとは何か？ 実現可能で実効性の高いエリアマネジメントとはどのようなことをすべきかで悩んでいる。二子玉川も交通問題、まち全体の共存共栄、新旧住民の融合など（小杉と）共通の課題があり、今後ともご教授をいただくとともに、住民同士の交流の輪を広げていければ良い。

#### ④（60歳代）

- ・小杉の大規模開発における地元住民、来街者の視点においての問題点が知りたかった。
- ・街づくりとして、街の回遊性はどうなっているのか。
- ・駐輪問題だけが交通問題ではない。駐輪場各所の視察はあったが、それだけに終わっていないか。
- ・歩行者、自転車、自動車等のバランスある街づくりは必要だが、駐車場の説明はなかった。ノーパーキング、ノービジネスと言われている今日、駅前立地でも車の対応力は街づくりに欠くことができない。
- ・来街者の息づかいのある街を期待したい。
- ・自転車の多さに驚いた。私の住んでいる新百合ヶ丘は坂があるせいか自転車が放置されていたり、通勤通学、ショッピングに自転車を利用したりする人はあまり見かけない。大型駐輪場の空き状況について、各駐輪場で分かるシステムが設置されていれば、満杯で駐輪できない時でも空いている駐輪用へ移動できないか。
- ・公共交通（バス）が少ないような気がする。小型バスの巡回で自転車・自動車の利用を減らせないものか。
- ・30年前に武蔵小杉に住んだことがある。A地区のような街ができ非常に驚き、嬉しい気がする。
- ・これからのバスターミナルの対応が検討不十分であり、より便利になるような対応が必要だ。
- ・車道、自転車道、歩道を区分し、各々が安全に通行できるようにすることが必要だ。



写真：東急横線新丸子駅横東急ストア前

## 6. 視察会を振り返って

■ まずは視察会を終え、こうして無事報告書刊行まで至り、ほっとしている。

これもひとえに当日ご協力頂いた関係者やご参加頂いた方々、そして何よりもメンバーの協力の賜物であり、この場をお借りして深く感謝を述べたい。「忙しいけれどまちづくり参加」とは、当会のキャッチフレーズでもあるが、個人的には公私共に諸事重なり、とにかく時間に追われ、本来であればもっと内容を充実できたのではないかと反省しきりである。

さて、こうして改めて視察会を報告書として振り返ってみて感じたことは、一般参加者を得たことで、メンバーだけの視点ではなく、客観的な視点に立つことができたことと、我々では気がつかなかった点などの指摘もあったことにある。とりわけ、発展を続ける武蔵小杉の「光」の部分だけではなく、その足元の交通やまちづくりにおける「影」の部分に気付き、我々市民として、どうかかわっていけば良いのかについて考えるきっかけとなり、当初の目的はほぼ達せられたと思う。今回の経験をもとに、今後とも市内視察会を企画・実施していきたい。（野 口）

■ かつて中原町の外れの小集落だった小杉・新丸子東地区は、南武線と東横線が交差する交通の要衝になったことで、いま目覚ましい発展を見せています。私たちの毎日の生活に欠かせない地域交通は、まさに「まちづくり」の要であり、まちを変える力すら持っています。ところが、いざ視察会で歩いて見ると、あれもこれもと問題点が見えてきました。

この視察会が、私たちの住むまちを安全・快適で人と環境にやさしくするためのきっかけになればと期待しています。（井 坂）

■ 武蔵小杉地区の変貌ぶりに一番戸惑っているのは、古くからこの地域に住んでいる方々ではないだろうか。再開発された地区では、何所も新旧住民の融合が大きな課題と聞いているが小杉も例外ではないと思う。これからも増大する新住民が、いかに地域に溶け込み、在来の人々と一緒になって自分たちの「まち」を創っていくのか注目している。（小田部）



写真：手前が東急武蔵小杉駅、  
奥が横須賀線武蔵小杉新駅プラットフォーム

■ 武蔵小杉は私の住んでいる街。今回の視察会事業を通じて、自分の街を見直す機会を得て、20余年住んでいる街の変貌を実感できました。10頁で紹介のエコステーション 21 駐輪場がある等多くの新しい発見をしました。一人の目でなく仲間や参加者と一緒に視察したから実現できたといえましょう。文献やインターネット検索だけではなく、実際の調査が街の問題発見・解決につながると思いました。

本年度も当会で川崎駅周辺の視察会を地元の団体と協力して実施する予定です。一緒に視察事業をしていきたいと思っています。（高 橋）



写真提供：川連昌久・新丸子東栄会会長

■ 小生は、南武線の旧「グラウンド前」駅があった所の花壇となっている武蔵小杉駅周辺の北地区を芳賀さんらのご協力によりご案内致しました。

新日本石油の社宅跡を通り、東京ガス武蔵小杉営業所の先を右に曲がり小住宅が密集するところを、通って日本医大新丸子校舎脇、そして同グラウンドと付属武蔵小杉病院の間の道を通って医大モール商店街から新丸子駅前に、更に東急東横・目黒線の高架に沿って南武線武蔵小杉駅北口バスターミナルまでをご案内致しました。

医大グラウンドは恒例の「小杉丸子さくらまつり」=写真=の会場として長年地域に親しまれてきたところですが、2011年のさくらまつりまでで、その後は再開発で使用できなくなるようです。この地区の再開発の足音が段々大きくなっていくことを象徴するような動きです。昔の雰囲気が残る地区が消えるのをさびしいと感じるのは小生だけではないでしょう。この3月13日には横須賀線武蔵小杉駅が開業とか・・・時代の大きな流れが武蔵小杉駅周辺を呑み込んでいく感を強く致しました。

(山 本)

### 武蔵小杉駅は地域の玄関

川崎の交通とまちづくりを考える会 副代表 井坂 洋士

ここ小杉駅前（北口）バスターミナルからは、毎日約 690 本（平日片道、送迎バス等を除く）ものバスが運行しています。平均しても 1～2 分に 1 台のバスが、幸区、高津区、宮前区野川・有馬方面に向けて発車してゆきます。つまり、ここ武蔵小杉駅は中原区の玄関口であることはもちろん、周辺地域に住む多くの皆さんの玄関口にもなっています。

このバスターミナルは、先ほどから見てきた再開発が行われている駅東地区とは反対側になりますが、再開発と無縁ではありません。まず、3月の横須賀線武蔵小杉駅の開業に合わせて、横須賀線新南改札前を発着し井田・日吉地区方面へ向かうバス路線 5 系統が新設されます。さらに東急武蔵小杉駅東口にもバスターミナルが造られており、ここには東急バスの路線が発着するようになると言われています。その時には、ここ小杉駅前を発着するバス路線が再編されることになるようです。

このように大きく変わろうとしている小杉駅前のバス路線。ところが、この毎日 2 万人近くもの人が利用しているバスがどう変わってゆくのか、私たち市民にはなかなか情報が入ってきません。電車と同様、バスも利用している方であれば毎日の生活に欠かせない大切な交通手段です。市や事業者には一層の情報開示が、また私たち市民には一層関心を持つことが求められていると思います。



## 7. 提 言 ～ 「歩きやすく」「自転車の利用しやすい」まちづくりを目指す ～

川崎の交通とまちづくりを考える会 代表 野口浩史

(1) 行政への提言 ～ 市民とともに交通とまちづくりに取り組む ～

武蔵小杉駅周辺は、再開発により街の景観が大きく変貌を遂げ、3月13日には横須賀線武蔵小杉新駅がオープンするなど、いわば「光」の部分がクローズアップされ、事実今回の視察会でも参加者からは再開発に対する一定の評価と期待の意見が多く寄せられた。

その一方で、放置自転車問題を筆頭に、自転車走行空間と道案内表示の不足、路上看板・商品陳列などで歩きにくいなどの「影」の部分指摘する声も多く挙げられた。

こうした結果を踏まえて、行政関係機関に対する武蔵小杉駅周辺の「まちづくりと交通環境整備」については、以下の提言をする。

①放置自転車対策：武蔵小杉駅周辺の放置自転車対策については、「自転車と共生するまちづくり推進委員会」の永年に亘る活動なしには語れない。行政関係機関にはこうした市民活動へのより一層の支援とともに、市民の参加機会の拡大を強く望む。

②駐輪場整備：大型駐輪場の設置だけではなく、駐車場への駐輪場敷設条例等（P.12 参照）の整備、分かりやすい案内表示、駐輪場マップ等の充実を望む。また、エコステーション21（P.10 参照）等のように、武蔵小杉駅周辺に点在する小さな空きスペースを活用した小規模駐輪場を少しでも多く確保する方策を講じて頂きたい。

③自転車走行空間の確保：自転車を住民の最重要交通手段として位置付けると共に、交通需要マネジメントの観点に立ち、自動車乗り入れ制限区間の設置や車道の自転車優先利用時間帯の設定など、社会実験や住民・関係者との協議を重ねつつ、自転車の利用しやすい交通環境整備を推進して頂きたい。

④歩道対策：路上に違法に置いた看板の撤去、段差解消、夜間照明の設置、案内表示等の充実などのきめ細かい対策により「歩きやすいまちづくり」を進めることを望む。

(2) 市民への提言 ～ いつも心にチェックシートを持ってまちを歩こう ～

多くの市民にとり、道路や交通機関は水や空気のような存在で、たとえ不満を持ったとしても、我慢するか自分以外の誰かが何とかしてくれるだろうと考え、自ら何らかの行動に出ることはほとんどない。しかし、普段の買い物で不良品を買わされれば、メーカーに苦情や改善を要求するのが当然の世の中、道路・交通機関のユーザーである我々市民が苦情や改善を要求するのは不自然ではない筈だ。また、海外では「交通権」が基本的人権と同列に位置付けられ、市民が交通やまちづくりに積極的に参画する例が少なくない。

当会では、「交通とまちづくり」について様々な課題を発見し、問題意識を持ち、何らかの行動に出る市民が一人でも増えることを目的として視察会を実施した。また、課題点等については「見える化」するため、チェックシートを準備して参加者に記入してもらった。

そこで、市民に対しては、いつも心にチェックシートを持ってまちを歩き、「良いところ」と「悪いところ」の評価づけや課題点を発見し、その解決には何が必要なのか、自分は何ができるのかなどについて考える習慣を持つことを提言したい。

当会ではそうした意識を持った市民が一人でも多くなり、できればメンバーに加わって頂きともに川崎の交通とまちづくりに取り組んでいきたいと考えて、視察会等の活動を続けている。

## 編集後記

私たちは地域の声を上げなければ、地域社会や交通機関は良くならないと考えております。視察会参加者のご意見や本報告書を通じて、地域を見直し変えていくきっかけになることを願って編集しました。

文章だけでなく、写真からも武蔵小杉駅周辺の街を見てもらおうと報告書を仕上げました。また、チェックポイントのまとめに各地域のこぼれ話を掲載し、各地区の雰囲気を知ってもらうように努めました。

本報告書はリソグラフ・モノクロ版で印刷のため写真は鮮明ではありません。本報告書に収録できなかった多数のカラー写真を含めて、当会ホームページの「視察会アンケート結果」にて紹介しておりますので、合わせてご覧ください。 (高橋)

ご意見・ご感想を裏表紙のメールアドレスか住所にお寄せください。

今後の動向なども合わせてホームページなどを通じて発表させていただきます。

当会では毎月1度、武蔵小杉駅前のかわさき市民活動センター(2ページ地図参照)にて定例会を開催しております(開催日時はホームページをご参照ください)。ご参加をお待ちしております。



【 通称児童用通路の前にて、視察会参加者の集合写真 】

### <メンバー紹介>

- ・野口 浩史 代表、事業統括、全体説明、意見交換会取り纏め等担当
- ・井坂 洋士 副代表、写真記録、C地区・⑮バスターミナル説明担当
- ・小田部 明人 運営委員(渉外)、A地区・⑥鉄道関係説明担当
- ・高橋 喜宣 運営委員(企画)、B地区・⑨説明担当、写真記録
- ・山本 善保 運営委員(企画)、C地区・全般説明担当
- ・杉本 賢司 運営委員(企画)、Aエリア・⑥バス関係説明担当
- ・大塚 敏高 運営委員(会計)、会計担当
- ・橋本 道哉 監事



## 武蔵小杉駅周辺視察会報告書

2010年3月21日発行

- ◆発行人 / 野口 浩史
- ◆編集 / 川崎の交通とまちづくりを考える会 (K-cube)
- ◆問合せ  
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東 3-1100-12  
かわさき市民活動センター レターケース 25 番
- ◆電子メール k-cube-webmaster@k.saloon.jp
- ◆ホームページ <http://kcube.zouri.jp>



本報告書の内容は出典を明記の上ご自由にご利用ください。

(CC) 川崎の交通とまちづくりを考える会 (K-cube) Some Rights Reserved.